

## 立教池袋中学校 3 年「英語 Basic」 Mid-Term Test (2024.05)

### ～ 概要～

試験時間	50 分		
	設問概要		
	形式	基本(テキスト内) / 応用	時間配分予想
[1]	空欄補充 (マークシート)	基本	2～3 分
[2]	語彙 (マークシート)	基本	1～2 分
[3]	品詞 (マークシート)	基本	1 分
[4]	語句整序 (マークシート)	基本	5～6 分
[5]	リスニング (歌)	基本	約 5 分
[6]	語彙 (過去分詞)	基本	1 分
[7]	英文書き換え	基本	5 分
[8]	和文英訳	応用	5 分
[9]	長文読解	基本	5～7 分
[10]	長文読解	応用	5～7 分
<b>チャレンジ問題</b>		[1]～[10]=100 点、[11],[12]=ボーナス 15 点	
[11]	空欄補充 (ことわざ)	応用	(余裕があれば取り組む)
[12]	空欄補充 (長文)	応用	(余裕があれば取り組む)

～ [1] 空欄補充問題（マークシート）～

✓ **形式**

：日本語の意味に合わせ、単文中の空欄に適した語句（動詞）を①～③の選択肢から選ぶ。

✓ **問題数**

：計8問。

✓ **配点**

：各1点。計8点。

✓ **ポイント**

：動詞の変化であることに注意する。

【be 動詞と一般動詞の区別】はもちろん、【過去形】や【進行形；be ～ing】、【三単現】、【現在完了】など、様々な形が混在して出題されている。

【現在・過去・未来】の時制は絶対に確認する。また、【習慣を表すときは動詞の原形】であることもポイントとなる。「～しています」という日本語の表現は「習慣」の場合も「進行形」の可能性もあるので、正確に読み取る必要がある。

～ [2] 語彙問題（マークシート）～

✓ **形式**

：日本語は英単語に、英単語は日本語に、それぞれ対応する意味の語を選んで答える。

✓ **問題数**

：10問

✓ **配点**

：各1点。計10点。

✓ **ポイント**

：マークシートなので、スペリングを問われる問題ではない。ただし、授業で試験範囲として取りあげられた語句はもれなく勉強し、意味を正しく覚えておく必要がある。

余分な選択肢はないので、紛らわしい選択肢もない。確実に得点したい問題。

### ～ [3] 品詞問題（マークシート）～

✓ **形式**

：単文の中から動詞にあたる語を選び、記号で答える問題。

✓ **問題数**

：4問。

✓ **配点**

：各1点。計4点。

✓ **ポイント**

：英文の語順の基本である【主語→動詞】の構造を把握できるかが問われている。【過去形】、とくに【不規則動詞】でもすぐに動詞を見つけ出せるよう、丁寧に語彙を身に付けておく必要がある。

### ～ [4] 語句整序問題（マークシート）～

✓ **形式**

：基本的な語句を並べ替えて、単文を完成させる問題。文は5つのパーツに分かれている。

✓ **問題数**

：8問。

✓ **配点**

：各1点。計8点。

✓ **ポイント**

：文頭にくる語も小文字になっている、選択肢の語句は「3番目/5番目」の順で記されている、という指示を見逃さないこと。

まず日本語訳と語群を照らし合わせて、【主語が何であるか】を正しく判断することがポイント。ここでも【主語と動詞】の構造を正しく理解し、平叙文と疑問文それぞれの語順に対応すること。受動態の出題が多いので、【be動詞+過去分詞】の形を使いこなせるよう対策しておきたい。

## ～ [5] リスニング問題～

✓ **形式**

：授業内で扱った洋楽が流れ、歌詞の空欄に当てはまる単語を語群から選んで当てはめる。  
「不要な選択肢も含まれています」という指示に注意。

✓ **問題数**

：10問。

✓ **配点**

：各1点。計10点。

✓ **ポイント**

：「see」と「sea」、「want」と「won't」のように、音だけ聞くと紛らわしい語が語群にあるが、歌詞を覚えていれば間違える可能性は低いだろう。

すでに知っている内容のため、確実に得点したい問題。放送は2回流れるので、1回目で穴埋めをほぼ完成させ、拾えなかったところを集中的に2回目で聞き取って完成、という余裕を持ちたい。

## ～ [6] 語彙問題（過去分詞）～

✓ **形式**

：動詞の過去分詞を書いて答える問題。

✓ **問題数**

：4問。

✓ **配点**

：各1点。計4点。

✓ **ポイント**

：スペリングも問われる問題である。「written」など、間違いやすいが頻出の過去分詞ばかりなので、確実に正答して得点したいところ。

【過去形】や【過去分詞】は頻繁に出題されるので、これまでに学習した範囲も含め復習が大切。

## ～ [7] 英文書き換え問題～

- ✓ **形式**  
：指示に従って英文を書き換える問題。  
文法的には【受動態】や【現在完了】が中心。
- ✓ **問題数**  
：5問。
- ✓ **配点**  
：各2点。計10点。
- ✓ **ポイント**  
：受動態【be 動詞+～ed】と現在完了進行形【have been +～ing】の文章をマスターすること。  
問題文の指示をよく読む（文法的に、どういう英文にすればよいのか確認する）ことが必須。  
【～もの間ずっと＝for～】という「時間の長さ」の表現は、現在完了進行形の文章で頻出。

## ～ [8] 和文英訳問題～

- ✓ **形式**  
：日本語の単文を、指定された語数で英訳する問題。
- ✓ **問題数**  
：3問。
- ✓ **配点**  
：各2点。計6点。
- ✓ **ポイント**  
：ここでも【受動態】と【現在完了進行形】がポイントとなっているので、文の意味や語句が初見だったとしても、どんな文章を組み立てれば良いかはイメージしやすいだろう。

## ～ [9] 長文読解問題～

### ✓ 形式

：「好きな音楽」をテーマに書かれた紹介文形式の、長文読解問題。

(1): 設問の英文が本文の内容に合っているかどうかを問う、T/F問題。

(2): 文中の空欄に当てはまる語（副詞・前置詞）を選んで記号で答える。

(3): 本文に関する質問（英文）に英文で答える（語数指定あり）。

(4): 本文に関する質問（日本語）に日本語で答える、内容理解を問う問題。

### ✓ 問題数

：15問。

### ✓ 配点

：各1点×10問 + 各2点×5問。計20点。

### ✓ ポイント

：長文問題は、【まず設問の内容と問題数を確認】すること！ 何を探しながら読めば良いのか、そしてこの長文に何分くらいかけて良いのか、整理して計画的に取り組むことが必須。

## ～ [10] 長文読解問題～

### ✓ 形式

：説明的文章の長文読解問題。

内容について、語句抜き出し・選択問題・T/F問題・英文和訳（単文）など多様な形の質問。

### ✓ 問題数

：17問。

### ✓ 配点

：各1点×14問 + 各2点×3問。計20点。

### ✓ ポイント

：[9]と同様、長文問題は、【まず設問の内容と問題数を確認】すること！通読してから設問を見て、ふたたび該当箇所を探すのでは、二度手間になってしまう。

前置詞を選ぶ空欄補充の問題は、文の内容に関係なく、前後の語句だけ見れば推測することが可能。

(6)の和訳問題では、「文中に含まれる代名詞が指しているものを具体的に訳すこと」という指示を見落とさず、前の部分から正しく読み取って訳すことが重要である。

～ [11]チャレンジ問題（空欄補充）～

✓ **形式**

：日本語のことに対応する、英語のことわざ表現の空欄に適した語を考えて書く問題。  
それぞれの単語の頭文字がヒントとして与えられている。

※チャレンジ問題([11],[12])は、解ければ100点に加算され、最大115点満点として扱われる。

✓ **問題数**

：6問。

✓ **配点**

：各2点。計12点。

✓ **ポイント**

：知らなければ書けないものもあるが、「一石二鳥」＝「Kill two birds with one stone」のように、推測すれば答えられそうな問題もある。そこまで時間を要さず、単語を書くだけの問題で配点2点というのは大きいので、点を稼げる部分でもある。

～ [12]チャレンジ問題（空欄補充）～

✓ **形式**

：説明的文章の長文読解問題。

文中の空欄に当てはまる語句が選択肢として提示されており、記号でそれぞれ答える。

✓ **問題数**

：3問。

✓ **配点**

：各1点。計3点。

✓ **ポイント**

：繰り返しになるが、長文を頭から読み始める前に【選択肢にある語句に先に目を通し、内容の見当をつけてから読み始める】こと。チャレンジ問題というだけあって他の長文よりは語彙的にもレベルが高い。一方で配点は計3点と比較的小さいので、時間はかけすぎない方が良さだろう。

## ～ 総評～

### ✓ 対策ポイント

：単語は授業範囲で扱ったもの（特に【歌詞の語彙】は数が限られているので必須）を確実に覚えること。動詞は、原形のみならず【過去形】や【過去分詞】も間違いなく書けるようにしておくこと。

：今回の出題範囲では、英文法は

【現在完了形】・【現在完了進行形】・【受動態】・【それらを用いた疑問文】が中心であった。

「～したことがある（経験）」、「ずっと～している（継続）」、「～した（完了）」の三つの用法を理解し、【原形や進行形との使い分け】をできるようにしておく必要がある。

「している」「した」など、日本語訳と英語の時制は必ずしも一致しない。慎重に判断すること。

：[9],[10]の長文読解問題は、【先に設問の内容と選択肢に目を通す】ことが最大のヒントとなる。

試験ではとにかくスピーディーに要点を押さえたリーディングを心がけ、日ごろから練習しよう。

[9](2)では「fell off」や「give up」のような【句動詞】が出題のポイントとなった。

【(前置詞+) 動詞+副詞】がセットになるパターンは非常に多い。授業や問題集で出てきたものから、今後少しずつ着実に覚えていくと役立つだろう。

### ✓ 傾向と対策

：基本はテキストや授業内で触れた内容が中心であり、一部の和文英訳問題や最後の長文はテスト用のオリジナル。設問数が多く、そのうち30点分がマークシートなので、**基本的な文法の内容を素早く思い出して、正確に処理していく**ことが求められている。

#### ⇒インターTOMASでは

個別指導でも**スラッシュリーディング指導を行うことで、速読力・速聴力**を磨きます。

試験時間が短い、足りないと感じる場合には、このトレーニングが有効です！

：後半の長文問題も、じっくり読むというよりは、**問われているポイントを見抜いて、素早くスキャンするように読む**解き方が適している。日頃から**英文を読むことを数こなす**、読む速度を上げていく必要がある。

#### ⇒インターTOMASでは

**いろいろな英文に触れることができる、受け放題の加圧式音読グループレッスンが効果的です。**

英語長文を安定してなめらかに読み切る**速読力・読解力**が身に付きます。